



新しい年を迎えて

自然博物館ねいの里館長 富永 宣宏

私がねいの里に来て、早いもので約7年が経過しました。近頃の子供は、われわれが子供だった半世紀も前と違って、田舎の子供たちでもほとんど身近にある自然とのふれあいはなくなりつつあります。

小学生が、高学年になるにしたがって自然への興味が薄れていく中、これまで如何にして多くの子供たちにこの施設を知ってもらい、また、生き物に興味を持ってもらえるかということについて苦心してきました。

このことについて、何度も職員間で話し合いを持ち、皆で知恵を出し合ってきましたが、なかなか特効薬は見つかりません。唯一、これは効果的だと思ったのは、まだまだ生き物に興味を持っている幼稚園児、保育園児に対する「出前講座」です。



イシガメをさわって
感触を確かめている園児

わって、動物の毛皮の感触を確かめています。小学校のように授業時間がきっちり決まっているわけではなく、幼稚園や保育園では1時間程度の時間は柔軟に空けてもらえるので、こちらから生き物をもって出かけても快く対応してもらえます。

夏場は特に、子供たちの好きな「カブトムシ」や「クワガタムシ」がたくさんいるので、子供たちも興味津々。30分から1時間程度の持ち時間もあっという間に過ぎ、終了後は、いつも子供たちが名残惜しそうに見送ってくれます。

今後は、幼児期の感受性の発達に役立つ五感を使ったプログラムなど、小さい子供たちにとって、より興味のあるプログラムの開発を目指したいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



どのコーナーも
園児たちで大にぎわい

この講座は、ねいの里に来てくれる子供たちの興味が、展示している小動物にあることからヒントを得て実行した取り組みで、ねいの里で飼育している生き物を各園に持っていき、観察してもらったり、さわってもらったりしています。

幼稚園や保育園でも、園庭やホールなどで金魚やカメなどを飼っているところはありますが、野生の生き物に触れ親しむ機会はそう多くはないことから、4年前この取組を始めました。毎年7～8カ所の幼稚園や保育園を回っていますが、先生や保育士さんにも好評です。

子供たちは本能的に生き物が大好きで、そのためカメやザリガニに触ると大喜びです。また、クマやイノシシのはく製にさわると大にぎわい。



恐る恐るクマのはく製に
さわると大にぎわい

アニマルトラッキング・バードウォッチングを楽しもう！



私たちの周りの里山にはいろんな動物が棲んでいます
が、その姿や痕跡はなかなか見ることができず、気が付
きません。ところが冬になるとたくさんの動物が棲んで
いることに気が付くようになります。雪の上に足跡を残
していくからです。

そんな動物の残した足跡や糞などの痕跡から、動物の
種類や行動などを推測することをアニマルトラッキング
と言います。

スノー
シューやカン

ジキを履いて、アニマルトラッキングをしながら雪上ハ
イキングを楽しんでみませんか？雪が積もると普段は行
けないところへ行くことができるようになります。そん
な所で足跡を追いかけてみるのも面白いですよ。

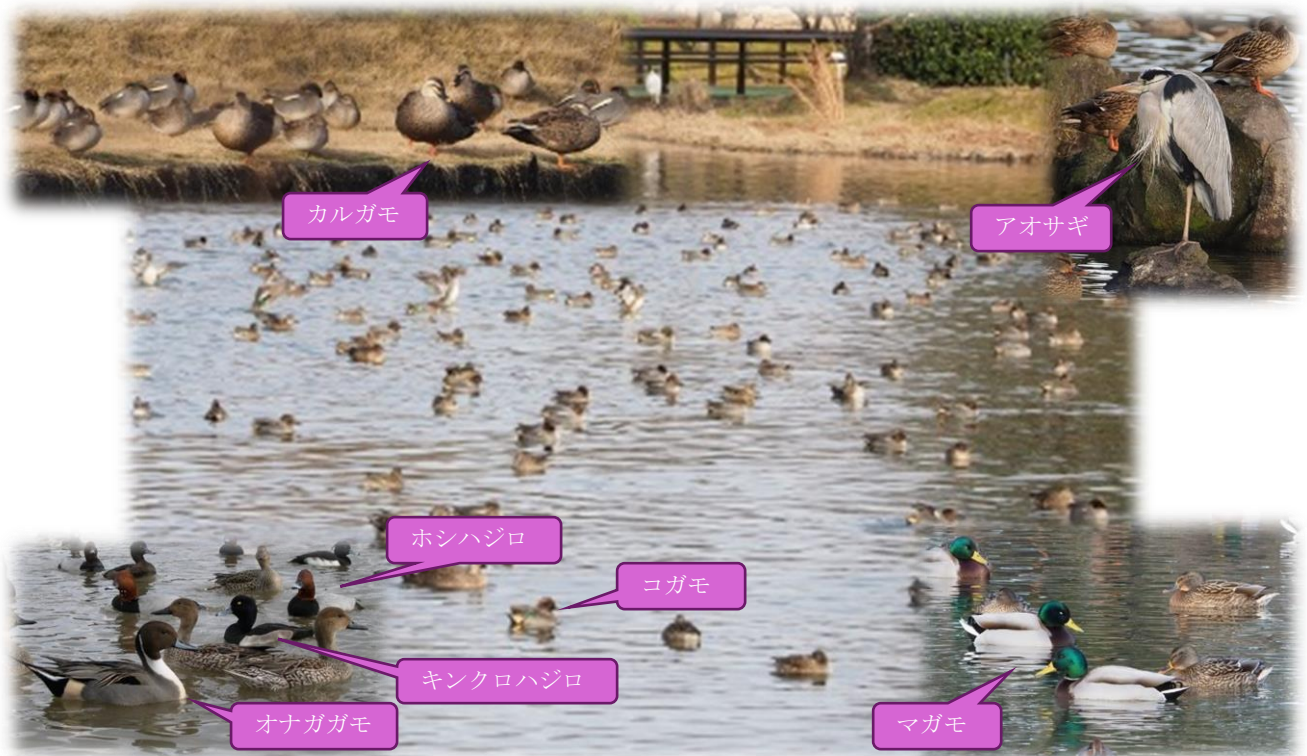
《 ねいの里の周辺でよく見ることができるもの 》
タヌキ、ノウサギ、キツネ、カモシカなど



冬は野鳥の観察にも都合のいい季節です。木立の葉が
落ちて見通しがよくなり、野鳥の姿がよく見えるようになるからです。また、公園の池や堀、川には
たくさんの鴨類が冬越しのために渡ってきています。この鴨類は小鳥のようにせかせかと移動しない
のでゆっくり観察することができ、バードウォッチングを始めようとする人には都合のよい鳥です。

天気の良い日の散歩のとき、ポケットに小さな双眼鏡があれば、それだけで楽しみが一つ増えるこ
とでしょう。

静かに観察をするので、防寒対策はしっかりとしましょう。



《 このほかによく見られるもの 》

鴨 類：ヒドリガモ、ハシビロガモ、オカヨシガモ
小 鳥：シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラ
その他：ダイサギ、ミサゴ

《 あったら便利なもの 》

双眼鏡：8～10倍のもの（これ以上倍率が大きい
と、手振れで見づらくなる。）

図 鑑：ポケットに入るくらいの小さなものでよい。

「2018年(第17回)アサギマダラのマーキング調査結果」

富山アサギマダラ調査グループ

今回のマーキング数は1,278頭でした。その内再捕獲されたものは23頭。最も遠かったのは、朝日町笹川でマーキングしたもので、約1,891km離れた沖縄県石垣島で再捕獲されました。

〈マーキング実績と県外で再捕獲されたもの〉

マーキング実績		再捕獲されたもの	
場 所	頭数	頭数	場 所
笹 川 (朝日町)	979	21	沖縄県、鹿児島県、徳島県、奈良県、京都府、愛知県、三重県、他
有 峰	112	1	三重県
烏帽子山 (朝日町)	106	0	
その他	81	1	山口県
合 計	1278	23	



〈県内で再捕獲したもの〉

再捕獲場所	頭数	マーキング場所
笹 川 (朝日町)	7	長野県、群馬県
合 計	7	

● (12月9日) 「クリスマスリース作り」



クリスマスリースを作りましたよ。この日に先立つ11月18日には輪っか作りもしました。クズやノブドウの蔓を採ってきて作りますが、これがなかなか大変な作業。自然塾の会員の協力で、今回は40個ほどの輪っかを作ることができました。



(輪っか作りの様子)

● (1月4日~6日) 「春の七草頒布会」



ねいの里新春恒例の「春の七草頒布会」を行いました。

春の七草とは、次のものをいいます。

- 芹 (せり) : セリ
- 薺 (なずな) : ナズナ (別名ペンペン草)
- 御行 (おぎょう) : ハハコグサ
- 繁縷 (はこべら) : ハコベ (コハコベ)
- 仏座 (ほとけのぎ) : コオニタビラコ
- 菘 (すずな) : カブ
- 蘿蔔 (すずしろ) : ダイコン

春の七草と七草粥

中国では唐の時代、五節句の一つである人日の節句(旧暦1月7日)に7種類の若菜を入れた汁物で

ある七種菜羹(しちしゆのさいこう)を食べて、無病息災や五穀豊穰を祈っていました。

また、日本では古くから正月最初の子の日に行った若菜摘みという風習や、小正月(1月15日)に望がゆ(宮中では7種類の穀物を入れた七種粥、一般官人には米に小豆を入れただけの御粥が振舞われた)を食べるという風習がありました。(15日は望月〈満月〉なので、望がゆといった。)

これらの風習が融合して、正月1月7日に七草を入れた七草粥を食べるという現在の風習となったようです。七草とは元々秋の七草を指し、小正月のものは七種(これもななくさと読む)と区別をしていましたが、いつの頃からか小正月の物も七草というようになりました。

ねいの里 これからの行事案内

● 1月27日(日)「カンジキハイクと野鳥の観察」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里
園内をカンジキハイクしながら、野鳥の観察をします。
(対象：小学生以上の一般、自然塾の会会員)



● 2月11日(祝)「動物の体を調べ、ジビエ料理を楽しむ」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里
イノシシやシカの体の構造の観察や、鶏の手羽先で骨格標本作りを行います。また、ジビエ料理の試食もできます。
(ジビエ試食：30食、料金：1食につき200円)
(骨格標本作りの定員：10組、料金：無料)



● 3月17日(日)「ねいの里の春見つけ」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里
早春に咲く花やカエルの卵などを観察しながら、春の息吹を見つけます。



● 4月21日(日)「五感クイズで里山散歩」

～山菜を摘んで「天ぷら」も作ります～
9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里
定員：30名程度(小学生以下は保護者同伴)
参加費：100円(自然塾の会会員50円)

● 4月30日(休)「ねいの里自然塾：春の大遠足」

～婦中町自然公園からねいの里まで歩きます～
9:00 ~ 12:00 集合場所：ねいの里駐車場
車を乗り合わせて婦中町自然公園へ向かいます。
対象：自然塾の会会員・家族・友人限定

**** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。> ****
受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

11月28日 ~ 3月31日 ロードキル写真展
交通事故にあう生き物がたくさんいます。
中には、思いがけない生き物も！



12月15日 ~ 1月21日 春の七草実物展
春の七草の実物を展示しています。
七草によく似た植物も展示していますよ。



「ねいの里自然塾の会」会員の皆様へ

「ねいの里自然塾の会」の運営委員会及び総会を行います。(当日の行事終了後)

運営委員会：2月11日(祝) 12:30より
総会：3月17日(日) 12:30より

○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>